

# 宮農技術情報

発行 令和5年4月18日

第2号

たいせつ農業協同組合

営農部 農産販売課

本所 営農センター 57-2357

支所 営農センター 87-4111

## 地温を確保し良好な出芽を目指しましょう。

播種作業は、これから本格的に始まります、今後も、低温日照不足の天候が予想されています。育苗ハウスの温度管理を以下のとおり徹底しましょう。

### 1) 播種直前 : できる限り地温を確保しましょう！

成苗ポットの置床は、前日午前中までに灌水し、ビニールで被覆し地温を確保する。

### 2) 播種後 : 種糓付近の温度を10℃以下にしない！

シルバー・ポリのベタ掛けのみの場合は、透明ポリ等で、二重トンネルを設置し、曇天時や夜間に併用する。

または、シルバー・ポリのベタ掛けの下に透明ポリのベタ掛けを設置し、曇天時にはシルバー・ポリを開放する。ただし、日照があると急激に温度が上昇するので、高温障害（ヤケ）に十分注意しましょう。

## 本年の育苗巡回について

4月下旬より順次育苗巡回致しますので、巡回を希望される方は、事前に農産販売課（57-2357）までご連絡下さい。

## 適切な育苗管理・ハウス管理で健康な苗作りに努めましょう。

### 《は種直後～1.5葉期までの育苗ポイント》

◇置床出芽の芽は徒長を防ぐために70%程出芽したら、二重被覆を取り除きます。

◇出芽～1.5葉期までは、苗の育っている場所の温度が10℃以下にならないよう、二重トンネルなどで保温しましょう。

◇特に「成苗ポット」はポット表面の温度が上がりやすいので注意しましょう。

育苗期間	は種～出芽前	出芽揃～1.5葉期
適温	30～32℃	20～25℃
ハウス換気温度	35℃以上	25℃以上
温度測定場所	糓の位置 (地温)	葉先近く
灌水のポイント	過剰灌水は避ける	早朝に一回十分灌水し、床土の過湿を避け 過剰灌水はしない
二重トンネル	夜間使用（夜温を10℃以上に保つ）	



置床鎮圧を実施している場合、ポットの周りに空間があるため、地温が上がりやすいので、注意が必要です。



### 「余り種子」がある方は、ご連絡をお願いします！

播種後、余り種子が出ましたら、農産販売課（57-2357）までご連絡頂きますよう、ご協力お願い致します。

なお、2～3日JAより引取りの連絡がない場合は、処分して頂いて構いません。

